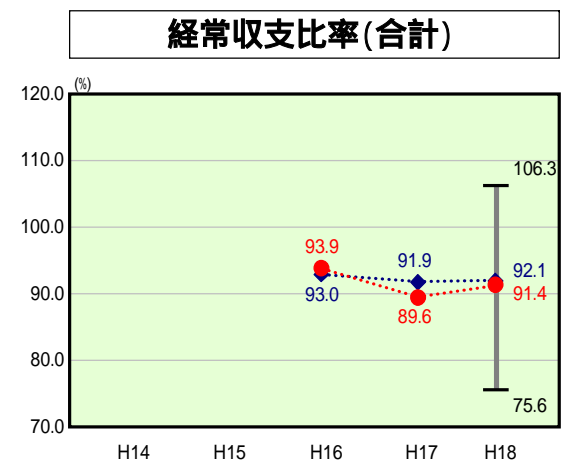


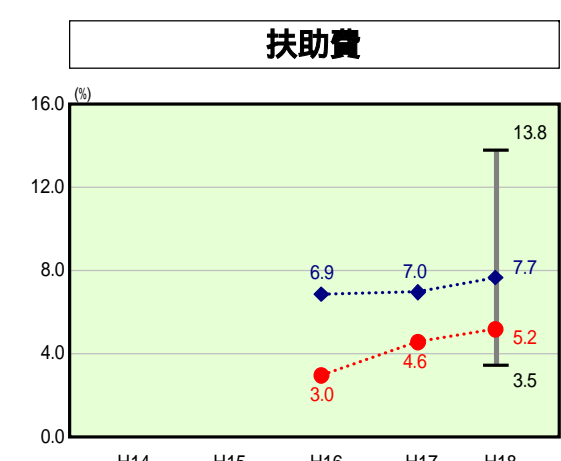
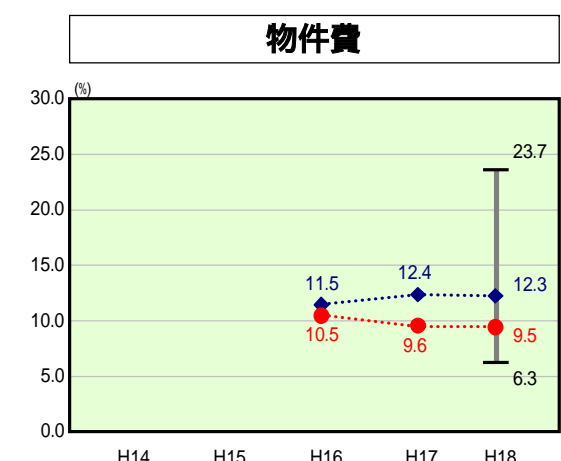
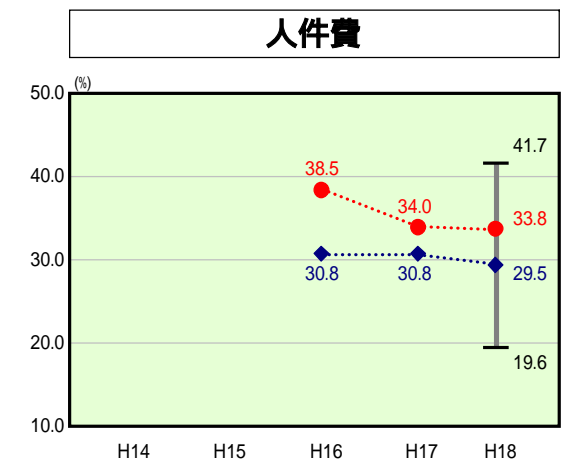
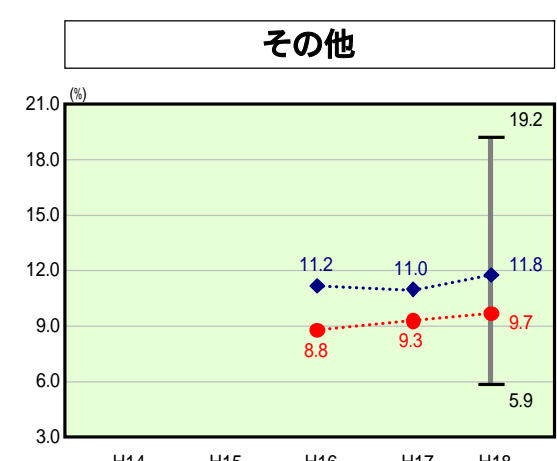
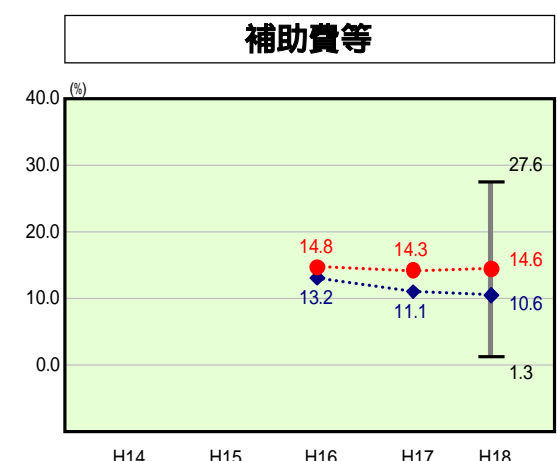
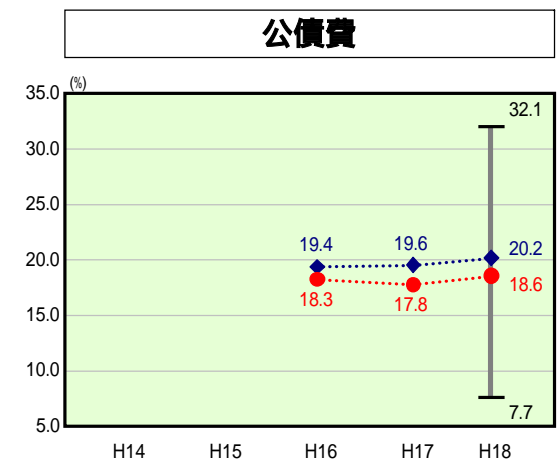
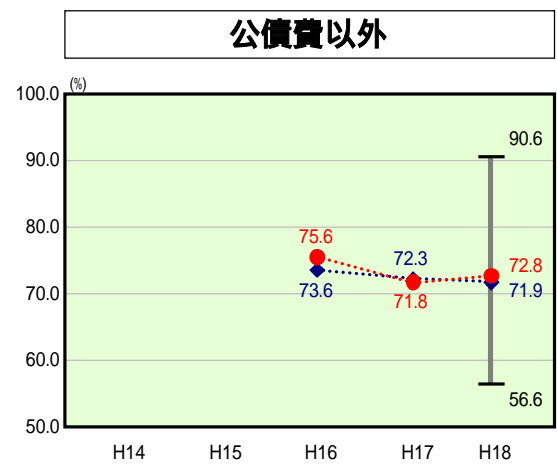
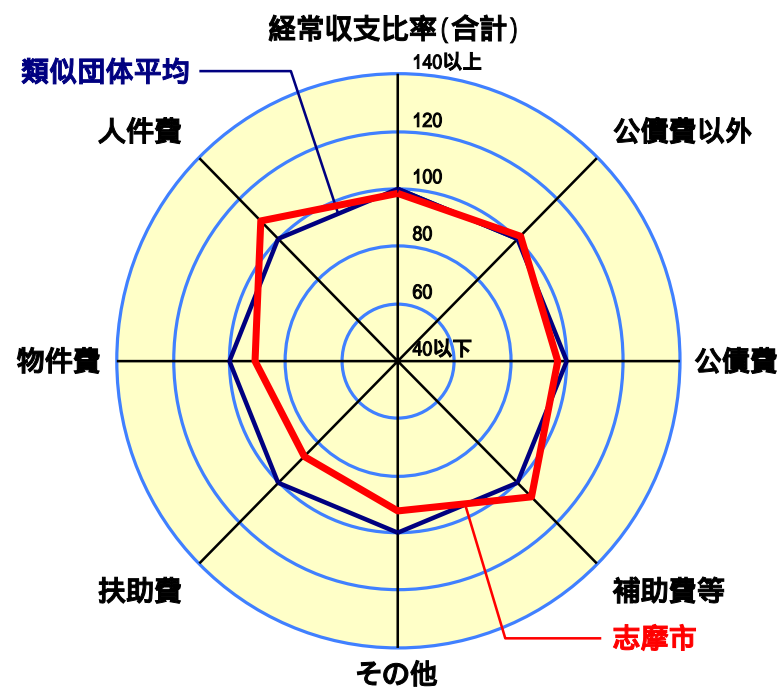
# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



当該団体値 ●  
類似団体内平均値 ◆  
類似団体内最大値 ▮  
類似団体内最小値 ▮

人口	60,098人(H19.3.31現在)
面積	179.67 km <sup>2</sup>
歳入総額	23,185,974千円
歳出総額	22,694,257千円
実質収支	461,992千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

経常収支比率の分析: 経常収支比率は、平成17年度に対し1.8%増の91.4%と上昇している。類似団体と比較すると人件費と補助費等が上回っているものの、人件費については平成18年3月に策定した志摩市定員適正化計画に基づき計画的に人員削減を図っているため、年々減少傾向にある。補助費等については一部事務組合等に対する負担金の占める割合が多く、今後広域連合によるごみ処理施設建設事業に対する負担金や既に完成したし尿処理施設の公債費に対する負担金の増が懸念される。

人件費及び人件費に準ずる費用の分析: 類似団体と比較すると人口1人当たり決算額が83,819円に対し、118,528円と34,709円多い。特に臨時職員等の賃金や一部事務組合負担金に占める人件費は、類似団体と比較すると多くなっている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析: 類似団体と比較すると人口1人当たり決算額が31,475円に対し、25,939円と5,536千円少ない。普通会計による公債費充当一般財源等額の人口1人当たり決算額は逆に類似団体より多くなっている。類似団体と比較して低くなった要因としては、公営企業や一部事務組合等の起こした地方債が少ないためである。

普通建設事業の分析: 平成18年度決算において類似団体と比較すると人口1人当たり決算額が52,453千円に対し40,616千円と11,837千円少ない。平成16年度決算と比較すると大幅な減となっており、主な要因としては磯部支所・磯部生涯学習センター建設事業や一般廃棄物最終処分場整備事業などの大規模事業の終了によるものである。